

令和元年度中野市子ども子育て会議、会議録

日 時 令和元年10月7日(月) 午後6時30分～午後7時50分
場 所 市民会館41号会議室
出席者 (委員)18名

須田美帆、松矢美知、波木井 恵、勝山葉月、伊藤 勇、
大西清美、竹内由紀、吉原恵美子、小山むつ子、井出英樹、
桑山洋子、高野次郎、山上裕起子、江森秀穂、仁科智栄子、
小橋矢寿子、阿部晃子、渡邊泰子

欠席：荻原芹香、田畑英樹、湯本美奈子、杉浦宏子、高野美紗、
山崎みなみ、川口知恵(順不同 敬称略)

(事務局)8名

子ども部長、子育て課長兼子ども相談室長、保育課長
子育て課長補佐、子ども支援係
保育課長補佐、施設係長
子ども相談室長補佐

1 開 会

(子育て課長)

今回、各選出団体の役員改選に伴い、4名の委員に交代がありました。

中野市子ども・子育て会議条例第5条の規定により、委員数25名中18名の出席があるため、本日の会議は成立します。

最初に子ども部長より挨拶をします。

2 あいさつ

(子ども部長)

委員の皆様には、本市の子育てをはじめとする市政全般にわたり、ご理解とご協力をいただき御礼申し上げます。

さて、前回の会議では、ニーズ調査について速報という形で、ご報告させていただきましたが、改めて今回調査結果の分析、考察を含めた概要をご説明しますので、ご意見を頂戴いただければと思っております。

子育て支援は、益々重要となっているので、将来の中野市を見据えた上で、より良い計画となるようご協力をお願い申し上げます。

3 協議事項 《山上会長が進行》

(1) 第2期中野市・子育て支援事業計画について

①ニーズ調査結果について

(会 長) それでは、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 資料に基づき子育て課長補佐説明

(会 長)

①ニーズ調査結果について、ご意見・ご質問等ありますか。

(委員)

今、アンケート結果を詳細に伝えてもらい、すごくわかりやすく聞かせてもらいました。

考察については、私も聞いていて、そこ知りたいな、そこ必要あるねと思いながら聞いていましたが、考察で導き出したことに対して、市でプランを出して実行したということをこれからやっていくと思うが、それに関して公表はするのですか？

(子育て課長補佐)

これについては、考察ということでこんなことが必要だということで、これを第2期の支援事業計画の中へ盛り込んでいく中で、それぞれ毎年このプランで適しているかどうか、適していなかったらどうしたらいいかということで、進めていくような形になると思います。

(委員)

とても興味深い内容、結果が出ているなという印象を持っているので、これを是非盛り込んでもらい、よりよい子育てできる環境にしてもらえたらと思います。

(委員)

土曜日、日曜日の保育園の利用希望について、今回保育・幼稚園が無償化になったが、今まで3歳未満の子どもたちが、土曜日も給食費を含めて、無料で利用できたのに、急に土曜日の利用に関しては、給食費は実費で徴収するという通知が、保育園から紙1枚できた。

これでは、子育て支援にならないと思うし、土曜日でもできれば子どもを預けて仕事をしたいと思っているが、土曜日も給食費の徴収が増えるとなると仕事もしづらいつい印象を持ったので、それに関して詳しく教えてほしい。

(保育課長)

土曜日の給食については、まず10月からの保育の無償化、これについては国の方針に基づき、3歳以上児と3歳未満児のうち非課税世帯の方々について、無償化を実施しています。

国の考え方として、今まで給食費は保育料の中に含まれていたという考え方があり、保育料の中で給食費を徴収し、提供させてもらった経過があります。

10月からは保育料は徴収しない。但し、光熱水道費や調理員の人件費は除き、材料費だけは、国は徴収すべきだという考え方で自治体に話が来ています。

それは自治体の考え方になるので、飯山市なんかは無償だと聞いています。ただ、全県下19市あるが、飯山市だけが無償0円ということになっており、18自治体については、実費徴収している状況であります。

土曜日の給食に関しては、現行5園が給食を提供しています。6園については、職員の対応ができないということで、弁当を持ってきてもらっています。この段階で不公平感が出ています。この不公平感を解消したいということ。

それから、土曜日給食を廃止することにより、実質材料費については、平成30年度の決算でいくと5,240円ほど実質かかっています。これを土曜日なくすことにより、

4,560円ということで抑えることができます。国では基本4,500円徴収することが望ましいという見解を示しています。土曜日の給食をなくすことで、国の目安としている4,500円に近づくので、それにより市の財政の方も経費削減できます。

(委員)

1世帯、3人目以降の子は無料だったが、10月からは3人目でも徴収になっているのか？

(保育課長)

18歳以下の1世帯で、3人目のお子さんについては、無償にさせていただきます。

(委員)

給食も無料なのか？ 土曜日はどうなるのか？

(保育課長補佐)

土曜日保育で副食費を10月から徴収するというので、先ほどのおかず代であるが、徴収するのは3歳以上児だけです。

3歳未満児は、保育料に含まれているので、3歳未満児は今までどおり保育料から徴収する形になります。

3歳以上児から徴収する副食費につきましては、今まで保育料が0円だった方、多子軽減ということで、第3子以降の方で、保育料が無料だった方は、副食費も無料にします。その辺は中野市独自の軽減策ということで、全員の方からは負担はいただかないということで行っています。

(委員)

子育て支援の中に入らなくて、子育てしづらい市になっていってしまうのではないかと、国からの方針だけで、それに沿ったものしかできない行政の運営になってしまうのではないかとというふうな不安が少しありつつ、不安に思ったので質問させていただきました。聞いて安心しました。

他に意見等なし

②第1期事業計画の施策等の状況について

(会長) それでは、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 子育て課長補佐説明

(会長)

②第1期事業計画の施策等の状況について、ご意見・ご質問等ありますか。

(委員)

子ども子育て環境の整備の関係で、昨年保育園入所にあたって、待機児童の問題があったと思うが、それに伴って今年はどういった対策を検討しているか教えてほしい。

それから、放課後児童クラブについて、平岡を利用させてもらっているが、災害時の対応や避難した場合にどのような対応をしているのか教えてほしい。

また、利用申請をしなかった日に子どもが間違えて行った時に、門前払いされたことがあった。今日は来る日ではないと、親が家にいるかどうかを確認せず、児童クラブの中で待機もさせず、返すということ自体問題ではないかと思っている。この件については、子育て課長に話をしたところ、対応してもらえるとという話になったが、他の児童クラブではどういう対応しているのか？

児童クラブに任せるのではなく、きちんとしたものをつくって徹底してほしい。

(保育課長)

子ども子育て環境の整備の計画に対する待機児童とのつながりだと思うが、こちらの計画については、施設的な面と、その時の保育士の数、そういったことから計画を立てさせてもらいました。

本年度、待機児童4月段階で30数名、待機児童を出すことになってしまったが、これについては保育士が非常に不足しています。

0歳児と1歳児の保育士の配置基準が、中野市の場合、0歳児だと3人のお子さんに対して保育士1人、1歳児については、お子さん4人に対して保育士1人、比較的手厚くお子さんを見るように配置をしています。

それと障がいをお持ちのお子さんに対しては、例えば1対1とか、2対1とか、これも手厚く保育士を充てています。

そんな関係で、そこに加えて0歳児、1歳児の申込みが増えてきたということで、31年度から預けたいという親御さんに対しては、大変申し訳なかったが、そんな状況の中で、保育士を充てることができない状況の中で、待機児童を出すことになりました。

現在、市としては、正規職員が5人退職したら5人採用するという原則で、今までやってきたが、今年度の採用からプラスアルファ、2人増とか、来年度についてもできるだけ多めにとってもらえるように、庶務課へお願いしています。

それプラス嘱託の保育士を随時募集しているが、入られる方もいれば辞める方もいます。

うまく補充に向けて着々と進んでいるかという疑問なところもあるが、いずれにしても少しずつ解消し、入所できるようがんばっているところであります。

それともう1つ、来年度4月1日開所に向けて、小規模保育事業を行う事業者を公募させてもらい、今のところ2施設を選定している。小規模保育事業というのは、3歳未満児のお子さんを預かる保育施設で定員が6名~19名ということで、この2施設につきましては19名ずつとるようになっています。

その部分で、0歳児、1歳児については、待機児童に関しては若干解消されます。

小規模保育事業者の方で預かっていた分、公立の保育所の保育士も空くので、その分お子さんを何人か見れる状況が生まれ、少しでも解消になるかなと思っています。

(子育て課長)

放課後児童クラブの関係について、災害時ということで、地震、台風、不審者、いろいろなケースが想定されると思います。

この場合、放課後児童クラブに来たからということで、すぐに返すという危険な目に合わせるわけにはいかないなので、基本的には学校の対応と一緒に、そこで話合っ

この場合はここに留めておいた方がいいのか、親に迎えに来てもらった方がいいのか、そこで判断をさせてもらい、場合によっては、放課後児童クラブは保護者への連絡手段でメールがないので、学校で使っているメールを使わせてもらう場合も想定しています。

それぞれマニュアルがあるので、年度始めに所長のところで確認をしてやっています。

申請をしていなくて、間違えてってしまった場合の対応については、放課後児童クラブは事前申請で、おやつの関係などがあるので「今日は来れない日だよ」というようなことを言ったのだと思うのが、そのような場合もあるので、ばらばらではいけないというご意見だったので、徹底するようにしたいと思います。

(委 員)

放課後児童クラブ、児童センターを開設すると記載されているが、計画はあるのか。

(子育て課長補佐)

放課後児童クラブ、児童センターを開設するという記載になっているが、現在、放課後児童クラブは各学校に一つはあるので、既に開設しているという形になります。

児童センターについても、中野と平野にあるので、今のところ増やすという計画はありません。

放課後児童クラブについては、小学校の統廃合があるので、その関係動きが出てくる形になると思います。

他に意見等なし

③第2期事業計画策定の今後の日程について

(会 長) それでは、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 子育て課長補佐説明

(会 長)

③第2期事業計画策定の今後の予定について、ご意見・ご質問等ありますか。

(委 員)

事業計画の素案が出来てくるということで、会議の前に素案計画を事前に配布してほしい。

(子育て課長補佐)

次回の会議の前に、素案を皆さんに配布して、会議の時にご意見をもらえればと思います。

他に意見等なし

(2) その他

(委員)

ニーズ調査の件で、かねてから思っていたが、おそらくニーズ調査は偏った意見になっていると思います。

何故かという、アンケート用紙を拝見したが、かなり枚数と質問数が多くて、あれを見て、あれに答えて、あれをわざわざ折って封筒に入れて、あれをどこかに持って行って返答をするという行為は、かなりエネルギーがいるなと思いました。

それと、そこまでの皆さんは、かなり子育てに対してご意見を持っていると思う。ということになると、そういう方たちの意見がニーズとして上がっているだけであって、一般の「こういうの面倒だよね」、私自身も幼稚園でよくアンケートをやるのだが、なかなか返ってこない。

今の世の中、プリントアウトをしたものを返答するというよりも、例えばこういったものにQRコードが付いていて、スマホで読み取り、返ってきたメールにYES、NOで答えていくと、それが全部データで集計できるというようなものとか、もっと大勢の方たちのご意見を拾えるような工夫を、次回ニーズ調査からしてもらえたらと思います。

それと、素案を送っていただく時期が12月又は1月となっているが、1月になってしまうと、おそらく市の方でもそこからいろいろなものを取り入れるというのは、難しくなっていく時期だと思います。

できればある程度の形になったところで、こういった会議に示してもらい、まだちょっと聞けるという余裕の時期に、この会議を使ってもらえると良いと思います。

(子育て課長補佐)

ニーズ調査については、おそらくまた5年後、そんな形になると思うので、いただいた意見を参考に、できるだけ多くの意見を簡単に書いていただけるような形を考えていきたいと思います。

それと第2回目の会議は、できるだけ早く開催して、皆さんの意見を反映できる形で日程を組みたいと思います。

他に意見等なし

4 その他

(子育て課長補佐)

本日の会議資料、大変足早に説明させていただいたので、またゆっくり見ていただいて、何か思ったことがあったら、電話だと聞き逃がしたり、メモを取れなかったりするのでは、FAX等で構わない。若しくは郵送か届けてもらって構わないので、何か感じたことがあったら、順次また受け付けたいと思います。

5 閉 会

それでは、以上を持ちまして、子ども子育て会議を閉じさせていただきます。